

2019年度卒業生、学修達成度等アンケート調査結果

高崎商科大学短期大学部

コース	実践力	協働力	地域と関わる力	社会情勢の理解	発信力	基礎的知識	平均値
ホテル・B	3.33	3.67	2.93	2.27	3.60	3.67	3.24
医療	2.48	3.00	2.39	1.87	2.57	2.65	2.49
観光・G	2.71	2.86	2.43	2.29	2.14	2.86	2.55
会計・B	3.00	3.17	3.17	2.50	3.33	2.50	2.94
短大全体	2.82	3.20	2.65	2.12	2.90	2.96	2.77

【 見えてきた傾向 】

- ・授業内でフィールドワークやグループワークを実施していることが影響したのか、全体的に「協働力」が高く出ている。
- ・リベラルアーツ教育を意識した項目としての「基礎的知識」も全体的に高く出ている。基礎科目を意識しながら自己評価を行ったと推測できる。この数値に関しては今後成績との相関も見てみたい。
- ・総じて低く評価されているのは「社会情勢の理解」。全てのコースでこの項目は最低値となっている。学生の苦手意識もあると考えられるが、2019年後期の授業内においては「社会情勢」を意識した素材のピックアップなどを行っていく必要があるかもしれない。
- ・「実践力」と「地域と関わる力」、「発信力」に関しては数値が連動している感がある。どれもフィールドワークなどのOut Campus Studiesによる成果と考えられ、「ブライダルプロデュース」等、学外での活動が比較的多いホテル・ブライダルコースが高く出ている。
- ・個々の評価に目を移してみると、時折「1」や「0」と自己評価している学生が散見される。個別の項目のみであれば問題ないかと思われるが、全ての項目の平均が1点台である場合は、自己肯定感が非常に低い状態が考えられる。成績面、出席状況、個別での指導を行う際に注意が必要と考えられる。